



社会医療法人三宝会
三木康彰理事長

■法人概要

所在地：大阪市
事業収入額：55 億円
職員数：約 800 人
運営施設（主なもの）：
病院 2 カ所
クリニック 2 カ所
特別養護老人ホーム1カ所
グループホーム 7 カ所
など

救急医療では年間約2000件を受け入れている。三木理事長の「救急隊や患者に安心感を持ってもらうことが重要」という考えのもと、「まず受ける」という方針を重視しており、対応が難しいケースでも一度診察した上で他院へつなぐ。院内では認知症ケア手法「ユマニチュード」を導入している。ユマニチュード

は「見る」「話す」「触れる」「立つ」を基本とし、患者の尊厳を重視するケア技法。地域包括ケア病棟では日本ユマニチュード学会のプログラム認定を取得した。同院では研修医教育や看護師育成にも取り入れている。人材確保への効果もみられており、ユマニチュードのケアを実践したいという理由で入職する職員もいる。一度退職した看護師が復職し、現在は認知症看護認定看護師として勤務している事例もある。

■「銭湯」を「まちの保健室」に
病院外では「社会的処方」の考え方に基づく取り組みを進めている。

その代表例が「寿楽温泉」だ。「長年市民に親しまれた銭湯でしたが2021年に閉店しました。しかし、地域コミュニティの維持や賑わい創出に貢献できないかと考え、当法人が運営を引き継ぎました」と広報・地域支援事業室の中間馨主任は話す。

「社会的処方」の取り組みで“ファン”獲得

100人以上が利用するという。施設では介護体操やヨガ、アロマケアなどを実施し、「まちの保健室」としての機能を担っている。こうした場合は、病院だけでは把握できない、困難を抱える人々との接点になる。その一例として、他の温浴施設で利用を断られていた高齢男性に対する支援がある。銭湯利用を通じて生活課題を把握し、その後の介護サービス利用につなげることができたという。

認知症グループホーム内で運営するカフェレストラン「めばえキッチン」も医療と市民の接点となる。管理栄養士が監修した食事を提供するほか、グループホームに入居する認知症

の人たちが接客を担う、みんなの家カフェを月1回開催している。地域住民が利用することで、認知症への理解促進や交流機会の創出につなげている。

「めばえキッチン」で提供する食事には、奈良県葛城市に当法人が持っている畑で育った野菜も使用します。放課後等デイサービスと連携し、自然体験や農業体験の場として提供しています」と広報・地域支援事業室の吉村友葵氏は話す。

■病院のファンを作る
断らない医療、ユマニチュード、社会的処方といった活動により、地域には病院のファンが生まれている。こうしたファンは、病院

「将来にわたって地域から必要とされる病院であり続けることを目指しています。これが持続可能な病院経営にとって重要なことだと考えます」（三木理事長）

同グループでは今後「南港ユマニチュード病院」の開設を予定している。新病院ではユマニチュードをコンセプトに据える。新たに「セル看護」を導入し、8病室ごとに担当看護師を配置する計画だ。必要な物品を積んだカートを持って患者のもとを回る方式を採用し、認知症ケアのユニットケアの考え

方病院運営に取り入れる。また、24時間立ち寄れる地域拠点として、さまざまな困りごとを受け止める機能も構想している。

医療機関が銭湯運営

社会医療法人三宝会（大阪市住之江区）は、病院機能の充実に加え、地域との接点づくりを進めている。「これからの病院は医療を提供する場にとどまらず、地域から必要とされる存在になることが重要」との考えのもと、院内外でさまざまな取り組みを展開している。



▲三宝会が運営する寿楽温泉



▲めばえキッチンでは認知症の人たちが接客を担うこともある



▲南港病院外観

受診や施設利用につながるだけでなく、病院のさまざまな活動の協力者にもなる。また、取り組みに共感した専門職が入職してくるなど、人材確保にも貢献する。

越で地域包括ケア

医療法人社団ゆみの
現地基幹病院と協定

医療法人社団ゆみの（東京都豊島区）は6月12日、ベトナム・ホーチミン市のトンニャット病院および同法人が運営支援する現地のDOM ED Clinicとの間で地域包括ケアモデル構築に向けた基本合意書を締結した。病院と在宅の連携により、循環器疾患患者を対象とした地域医療体制の高度化を目指す。



▲調印式の様子

同法人は、クラウド型ナースステーション「管制塔センター」や、在宅で測定された患者

し、ベトナムにおける地域医療連携の仕組みづくりを進めてきた。今回、ベトナム保健

D Clinicは調整役として、病院チームと連携し地域包括ケアモデル構築の一層の推進を図る。

トンニャット病院が中核的な臨床機関として患者選定、院内治療、退院計画の作成、退院後の臨床フォローアップおよびプログラムの評価を担う。DOME

非緊急医療搬送AIで自動配車
VISTA（秋田市）は秋田市と協働で、通院・退院・転院などの非

緊急医療搬送の車両手配をDX化する実証事業を7月より開始する。マッチングシステム「カイクネット」とAIが自動で配車手配を行う「AIコールセンター」を活用。医療相談員やケアマネジャーによる非緊急医療搬送の手配業務の負担軽減に貢献する。

医

療

★ Menu例 ケアメイク&フォト、フットトリートメント、ケアネイル、アロマ工作、フェイシャルトリートメント、美容レクリエーション、訪問理美容 ...and more!

始めるなら今!

初期費用 ~~¥50,000~~ → **¥0**

お問合せ **03-6434-9429**
(受付 10:00~19:00 *日曜休)



株式会社ミライプロジェクト
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-15-15
タガミ神宮前ビル 2F
https://www.mirapro.net/

*介護・医療系資格保有者